

再 評 価 書

箇所名	二級河川 百々川		事業名	広域河川改修事業	課名	河川・砂防課
事業概要	工 期	平成 20 年～平成 49 年	全体事業費 (下段：前回)	3,945 百万円(負担率：国 0.5 県 0.5)		
	(下段：前回)	平成 20 年～平成 49 年		3,945 百万円(負担率：国 0.5 県 0.5)		
事 業 目 的 及 び 内 容						
<p>(1) 事業の目的</p> <p>百々川は、松阪市東部の丘陵部を源とし、水田地帯、市街地を抜け三渡川に注ぐ、流路延長 4.4km、流域面積 9.78km²、の二級河川です。</p> <p>百々川流域では、豪雨や台風により平成 5 年 11 月に 20 戸、12 年 9 月に 48 戸、16 年 9 月に 100 戸の家屋が浸水被害を受けました。</p> <p>百々川の改修は、河道拡幅及び河床掘削、ネック点となっている水門改築、橋梁架替等により流下能力を確保し、治水安全度の向上を図ることを目的としています。</p> <p>(2) 事業の内容</p> <p>事業の内容は、次の通りです。</p> <p style="padding-left: 20px;">延長 1,000m</p> <p style="padding-left: 20px;">① 築堤 8,528 m³ ②掘削 20,910m³ ③護岸工 1,971m ④水門 1 基 ⑤橋梁 2 橋 ⑥用地補償 1 式</p>						
事 業 主 体 の 再 評 価 結 果						
<p>1 再評価を行った理由</p> <p>平成 20 年度に河川整備計画を策定したため、前回評価審査委員会において報告を行いました。前回委員会から一定期間（5 年）が経過し、現在も継続中の事業であるため三重県公共事業再評価実施要綱第 2 条（3）に基づき、再評価を実施します。</p>						
<p>2 事業の進捗状況と今後の見込み</p> <p>① 平成 20 年度に河川整備計画を策定し、防潮水門の改築に着手しました。</p> <p>② 平成 24 年度に防潮水門の改築が完了しました。</p> <p>③ 平成 25 年度までに事業費ベースで 35%が完了予定です。（工事費 43%、用地費 0%） ※平成 25 年度以降は、防潮水門から上流側へ河道の拡幅工事を進めていきます。</p> <p>④ 平成 49 年度の整備完了を目標としています。</p>						
<p>3 事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <p>○周辺環境の変化</p> <p>・平成 5 年、12 年、16 年に浸水被害が発生したことを受け、地元住民の治水事業への理解と関心が高く、現在までに順調に事業が進捗しています。</p>						

4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元意向の変化等

4-1 費用対効果分析

(平成25年度 費用対効果分析結果；H17 治水経済調査マニュアル(案)による)
費用対効果(総便益/総費用) $B/C = 65.81 \text{ 億円} / 35.51 \text{ 億円} = 1.85$

※総便益 $B = \text{総便益(現在価値)} + \text{残存価値(現在価値)}$

※総費用 $C = \text{建設費(現在価値)} + \text{維持管理費(事業費の0.5\%現在価値)}$

○B/C低下の要因

総便益は、資産の減少が著しいことから減少しています。

総費用は、社会的割引率を用いた現在価値化により増加しました。

4-2 その他の効果

百々川の防潮水門の改築により、高潮被害の軽減が見込まれます。

また、防潮水門の改築に合わせて、施設の耐震化を行っています。

4-3 地元意向

百々川流域では、平成16年9月に浸水被害が発生しています。また、過去にも平成5年11月、平成12年9月等、幾度も浸水被害を受けていることから、松阪市自治会連合会より、百々川の改修に関する要望が出されています。

5 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性

5-1 コスト縮減

引堤工事に伴い発生する土砂を堤防盛土等に利用することでコスト縮減を図ります。

水門のゲート形式について経済比較を行い、最適な工法を採用しています。

5-2 代替案

①『ダム案』 流域の大部分が平地で、ダムの適地はありません。

②『遊水地・調節池案』 新たに用地を取得することや、補償することは困難です。

以上のことから、百々川では河道改修が妥当と考えられます。

再評価の経緯

本事業は、平成20年度に河川整備計画を策定し、前回の評価審査委員会において報告しました。

事業主体の対応方針

三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第5条第1項に該当すると判断されるため当事業を継続したいと考えています。



百々川位置図